



2024年2月14日

各位

会社名	リケンNPR株式会社
代表者名	代表取締役会長兼CEO 前川 泰則 (コード: 6209、東証プライム市場)
問合せ先	経営企画統括部長 千代 英一 (TEL. 03-6899-1871)

### リケンNPR株式会社第一次中期経営計画策定に関するお知らせ

リケンNPR株式会社は、本日(2024年2月14日)開催の取締役会において、第一次中期経営計画を決議いたしましたので、その概要について下記の通りお知らせいたします。

#### 記

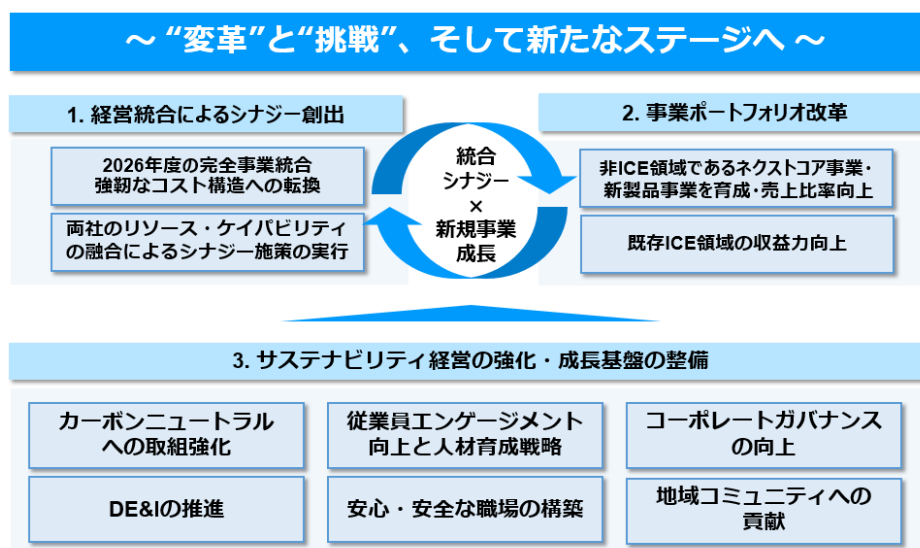
##### 1. 策定の背景

近年、自動車業界は100年に一度と言われる大きな変革の中であり、エンジン部品を巡る市場環境は確実に厳しくなっております。こうした状況下にあって、内燃機関が当面のパワートレインの主力であるとの認識のもと、地球環境に優しいエンジン部品の開発を進める一方で、SDGsや脱炭素といったグローバルな潮流を捉えた新事業開発を共通の課題と考える株式会社リケンと日本ピストンリング株式会社は、2023年10月2日付の共同持株会社設立により経営統合し、リケンNPR株式会社(以下、「当グループ」といいます。)がスタートいたしました。

当グループは、エンジン関連部品を中心とする既存事業について各種合理化等を含む収益力強化策を進めるとともに、次代を担うネクストコア事業の拡大・基盤強化を推進してまいります。加えて、持続的に成長する経済社会実現のための「サステナビリティ経営」を実践し、中長期的な企業価値向上に取り組むと考えております。

このような背景を踏まえ、当グループは、「生み出す力で人と地球の“今と未来”を支えます」を経営理念のミッションに定め、「リケンNPR(株)第一次中期経営計画」(以下、「中期経営計画」といいます。)を策定いたしました。

##### 2. 中期経営方針



### 3. 「中期経営計画」骨子

#### (1) 全体計画

当グループは、2027年3月期に、売上高1,800億円、経常利益率9%以上、ROE8%以上を目標といたします。また、2031年3月期には、売上高2,000億円、経常利益率12%以上、ROE10%以上を目指します。



#### ◆事業ポートフォリオ改革・シナジー創出・バランスシート最適化に取り組み、株主資本コストを上回る資本収益性（ROE）を実現

- ➔ 企業価値向上に向けた戦略的キャッシュアロケーションの推進
  - 事業ポートフォリオ改革に向けた積極投資（設備投資・M&A・研究開発）
  - 株主還元の一層の充実化
- ➔ 財務戦略も含めた当期純利益水準の確保
- ➔ 中期戦略の着実な遂行、IR活動の充実化を通じた株主資本コストの低減

#### (2) 事業戦略

当グループは、自動車エンジン向け製品を中心とする既存事業の①ピストンリング事業、②ベース事業、及び次代を担う新規事業を柱とする③ネクストコア事業について、「事業ポートフォリオの改革を進め、持続的な売上・利益成長を目指す」方針のもと、以下の通り取り組んでまいります。

##### 【既存事業：収益力強化】

###### ① ピストンリング事業

EV化進展の中でも引き続きエンジンが主力となる「商用・産業用」、「補修用」、「船舶用」に強みを発揮し、豊富な製品ラインナップを持つ「グローバル No.1 サプライヤー」の地位を維持しつつシナジー創出・抜本的生産性改善による収益力強化に取り組みます。また、カーボンニュートラルを念頭にエンジンの機能向上、水素・代替燃料対応等の技術革新に貢献してまいります。

###### ② ベース事業

焼結・樹脂・素形材部品等の分野において、グローバルニッチトップのサプライヤーとして、今後予想されるエンジン向けの減産を得意分野でのシェア拡大で補いつつ、合理化、製品の入れ替え等を通じて利益率改善に取り組みます。また、配管・建設分野については、子会社化した日本継手株式会社（旧 JFE 継手株式会社）とともに、積極的に事業拡大を図ります。

##### 【新規事業：売上規模拡大・中核事業化】

###### ③ ネクストコア事業

熱エンジニアリング分野については、シンワバナス株式会社の子会社化を通じて、今後も長期的な市場規模拡大が見込まれる半導体製造装置に必要となる発熱体について、幅広い用途・温度域の製品ラインナップを獲得し、当グループが持つ既存リソースと合わせ、事業の大幅な拡大が可能となりました。その他 EMC(※)分野等、次代を担う事業の拡大・基盤強化に加え、電動化ユニット、機能性樹脂、磁性材、医療機器等の新製品開発についても戦略的な投資等を進め、中核事業化に取り組んでまいります。

(※) 電子機器等に関する電波影響を受けない・及ぼさない「電磁適合性」を確保するための設備・製品

### (3) 財務・資本・人材戦略

#### 【キャッシュアロケーション】

##### ① 戦略投資

営業キャッシュフロー及び政策保有株式等の資産圧縮を通じて創出した資金のうち計 430 億円を、成長領域の設備や研究開発、M&A 等に向け、戦略的に投資してまいります。

##### ② 株主還元

株主還元につきましては、経営上の重要課題と認識しており、総合的な観点から適切な資金配分を行うことを前提として、株主の期待にお応えしつつ安定的・継続的に実施して行く方針です。本中期経営計画期間については、配当性向 40%以上、総還元性向 70%以上（3年平均）、総額 200 億円（うち自己株式取得 100 億円）を目途とし、従来対比株主還元の水準引き上げを図ってまいりたいと考えております。尚、自己株式取得につきましては、損益・財務状況、資本効率等を勘案しつつ機動的に実施してまいりたいと考えております。

#### 【人的資本投資】

人的資本につきましては、成長分野への要員シフトを積極的に進め、人材への投資・リスクリング等を通じて事業構造の変革に備えるとともに、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（以下、「DE&I」といいます。）を推進し、多様な価値観を取り入れ変化を恐れず挑戦するクリエイティブな企業風土の醸成に取り組んでまいります。

### (4) サステナビリティ経営

当グループは、企業と社会の持続的成長を支えるため、サステナビリティ経営を推進してまいります。主要な取り組み事項については、以下の通り KPI を設定し、目標達成（2027 年 3 月期）を目指します。

#### 「カーボンニュートラルへの取組強化」

GHG 排出量（Scope 1・2） ▲39%（連結）（2013 年度実績対比）

#### 「DE&I の推進」

女性管理職比率 3%以上（国内）

7%以上（連結）

男性育児休業取得率 50%以上（国内）

#### 「コーポレートガバナンスの向上」

行動規範の実践度率 80%以上（連結）

#### 「従業員エンゲージメント向上と人材育成戦略」

従業員人材開発投資 +30%（連結）（2022 年度実績対比）

また、従業員エンゲージメント向上につきましては、重要な経営課題と認識しており、今後、「従業員が生き生きと働くことが出来る職場」について更に掘り下げて考察したうえで、2025 年 3 月期中を目途に KPI の設定をしてまいりたいと考えます。

### (5) 株価の向上に向けた対応

当グループは、中期経営計画期間において事業ポートフォリオ改革、シナジー創出やバランスシート最適化を推進し、株主資本コストを上回る資本収益性（ROE）の実現を図ってまいります。また、従来対比高水準の株主還元を行い投資家の期待に応えるとともに、サステナビリティ経営の推進、IR 活動の充実化等により当グループに関する投資家の理解を深め、企業価値及び株価向上（PBR 1 倍へ）に積極的に取り組んでまいります。

中期経営計画の詳細は、当社ホームページ(<https://www.npr-riken.co.jp/>)をご覧ください。

以上